

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/10/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.37	0.04
JPY/THB	0.2426	0.0001
USD/JPY	149.93	0.12
EUR/THB	38.33	-0.10
EUR/USD	1.0536	-0.0041
USD/CNH	7.328	0.002
SGD/THB	26.49	-0.07
AUD/THB	23.05	-0.07
USD/INR	83.27	0.01
USD Index	106.57	0.31

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.889	0.000
10Y (THB)	3.333	0.000
5Y (USD)	4.934	0.065
10Y (USD)	4.915	0.081

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,955.3	32.6
WTI (Oil)	88.32	1.66
Copper	7,972.5	2.0

Stock

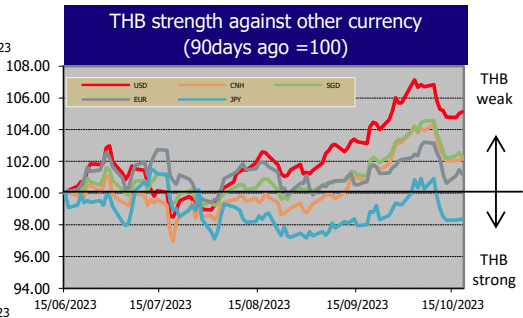
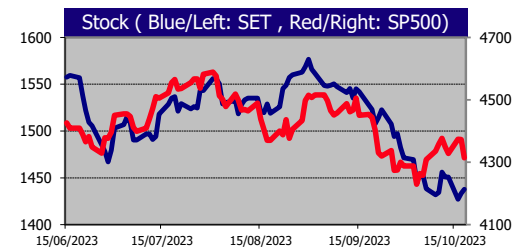
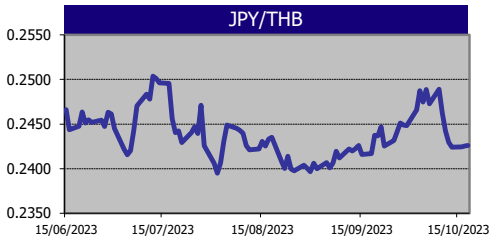
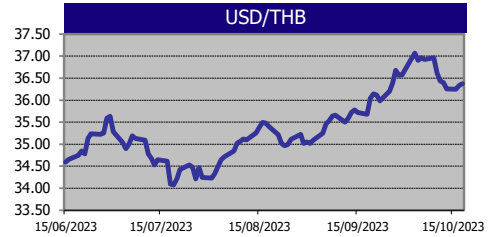
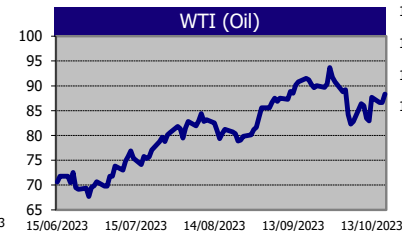
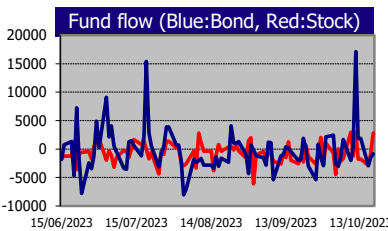
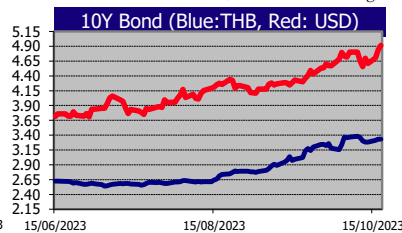
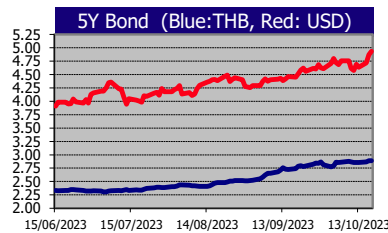
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,437.85	4.45
NIKKEI (JP)	32,042.25	1.96
DOW (US)	33,665.08	-332.57
S&P500 (US)	4,314.60	-58.60
SHCOMP (CN)	3,058.71	-24.79
DAX(GER)	15,094.91	-156.78

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,800	3641.2
Bond net flow	(842)	632.4

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは経済指標や米金利の動きに上下する展開。36パーツ半ば付近でスタートしたドルパーツは、朝方発表された第3Q GDPをはじめとする中国主要経済指標が軒並み市場予想を上回ったことを受け、対ドルでの人民元買いに連れる格好で36パーツ台前半まで下落。以降、しばらく同水準での推移が続いた。ただ、海外時間に入ると米金利の上昇を背景にドルパーツも36パーツ半ばまで上昇。ウィリアムズ・NY連銀総裁が米金融政策について「当面制約的なスタンスを維持する必要がある」と発言したこともドルパーツをサポートする格好となった。終盤にかけては同水準を維持しながら推移。結局36.37レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅に上昇。149円台後半で取引を開始。主要中国経済指標の改善や実需の売りを背景にドル円は上値重く推移。一時149円台半ばを付けるも、茲許、下がったところでは拾われる展開が続く中、バンコク時間終盤にかけて149円台後半まで戻した。海外時間に入り、米金利の上昇にドル円も上昇基調での推移となるも、150ちょうど付近での水準では介入警戒感強く値幅は限定的なものとなり、結局149.93レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日は中国で第3四半期GDP含め多くの経済指標が発表され、その大半が予想を上回る伸びを示した一方で、不動産関連の指標では投資の減少幅が拡大したことも確認され、同市場の低迷が引き続き経済の足かせとなっていることが露呈された内容でもあった。そのような中、昨日は中国の不動産開発大手がオフショア債の利払いを期日通りに履行する公算が小さいことを明らかにしたことも取り沙汰され、人民元は朝方一旦買われた後に売り戻される荒い値動きを見せた。中国では不動産開発会社のデフォルトはこれまでも頻発しているものの、同社のような規模の会社が債務再編となれば住宅セクターの混乱に拍車がかかる可能性があるため注意が必要だろう。観光収入含め中国経済と深い繋がりがあるタイの経済にとっても中国住宅市場の動揺は懸念材料の一つであり、今後もパーツを重くする要因となりえる。本日の材料としてはNY時間にパウエル米FRB議長の講演が予定されており、31日から開催されるFOMC前のブラックアウト期間直前ということもあって市場の注目を集めると見られるが、引き続き中国関連のニュースからも目を離さないようにしていきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.